

第16回福島県都市計画審議会都市政策推進専門小委員会

会議の概要

日 時：令和3年4月23日（金）10：00～
場 所：福島テルサ 3階会議室 あづま

1. 開会

2. 議題

県北・県中・会津都市計画区域マスタープランの見直しについて

- (1) 都市づくりビジョンの検証
- (2) SDGs との整合の検証
- (3) 区域マスタープラン見直しの視点と主な修正箇所
- (4) 見直しスケジュール

3. 審議内容

◇事務局より（今回の小委員会の趣旨）

- 前回小委員会（R2.6月書面開催）での「見直し案（骨子）」に対する委員の意見や市町の意見等を踏まえ、3区域（県北・県中・会津）の素案を作成したので、意見を聴取したい。
- なお、前回の小委員会等で「都市づくりビジョン」の見直しについても検証すべきとの意見をいただいているが、ビジョンの見直しには、都市における課題の分析や社会動向など様々な検証が必要となることから、都市計画法に基づき令和4年度より実施する都市計画基礎調査の結果をもとに精査し、見直しの検証を行う方針とする。
- そのため、今回の区域マスタープランの見直しにおいては、「都市づくりビジョン」自体は変更せず、防災まちづくりの取組、SDGsの推進、新型コロナウイルス感染症拡大への対応など、近年の社会動向等を踏まえた対応について、都市計画区域マスタープランにおける基本理念（背景）や基本方針へ反映することとする。
- 現行の区域マスタープランにおいて、特に課題への対応が不足している「防災・気候変動対策」について、令和元年東日本台風での甚大な被害等を踏まえ、喫緊の課題として今回の見直しにより重点的に取り組むこととする。

◇区域マスタープラン素案等に対する委員の主な意見

- 基本的には説明した素案で良いが、言い回しや表現等について修正する。
 - ・「ニューノーマル」という表現を「新しい生活様式」にしてはどうか。
 - ・句読点の付け方、「また」「なお」などの接続詞の使い方を見直す。
 - ・「AI」や「IoT」などは注記を記載した方が分かりやすい。
- 意見等を反映したことにより、現行の文章に文言を追加して長い文章になっていることから、伝えたいことを端的に表現し、理解しやすい文章に整理すべき。
- 新しい生活様式（デジタル化の進展に伴う働き方や住まい方、産業構造の転換）への対応を踏まえて、今後、「都市づくりビジョン」の抜本的な見直しを検討していくべき。

◇事務局より（今後の予定）

- 委員の意見等を踏まえて素案の修正を行い、諸手続（素案の縦覧、公聴会、関係機関協議等）を進め、原案のベースができた段階で、次回の小委員会を開催する。

以 上